

## 林野火災に関する市長記者会見

令和7年3月31日

令和7年3月23日に今治市長沢において発生いたしました林野火災への対応につきましては、消防隊、消防団の皆様をはじめ、愛媛県、自衛隊、総務省消防庁、さらには周辺自治体や関係機関の皆様の多大なるご支援をいただきながら、昼夜を問わず消火活動を展開してまいりました。

強風の影響によって延焼範囲が拡大し、最大で3,056世帯、5,988人の皆様へ避難指示を発令する事態となり、一部の地域で建物へも被害が及びました。焼損面積では、平成以降、県内最大規模の林野火災となっています。

このたびの火災によって、大事なご自宅や財産に被害を受けられた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

懸命の消火活動の成果が実を結び、3月 28 日(金)には「延焼阻止」を宣言いたしました。その後も一昨日、昨日と、各部隊が総力を挙げて残火の処理等にあたり、感知された熱源については速やかに消火が行われております。

今朝、私自身が防災ヘリに搭乗し、上空から現場の状況を確認いたしましたところ、先程の本部会議において、本市の消防長から熱源は見当たらず、延焼のおそれがなくなった状態にあると判断できる旨を報告いただきました。この状態を踏まえ、本日 11 時をもって火災は「鎮圧」したことを発表させていただきます。

鎮圧に至るまでは、大変困難な道のりでした。現地へいち早く駆けつけ、士気高く災害対応力をもって消火活動の中核を担ってくださった自衛隊、防災航空隊、緊急消防援助隊、県内消防応援隊の皆様には、今治市民を代表し、心より深く感謝を申し上げます。

また、災害発生直後から常にわれわれに寄り添っていただき、力強いご支援を賜りました愛媛県災害対策本部、的確な助言と指導に

よって私たちが鎮圧へと導いてくださった総務省消防庁、さらには関係機関の皆様や、全国各地からあたたかい支援のお気持ちをお寄せいただいたすべての皆様に、改めて御礼を申し上げます。

そして、今治市消防隊および消防団の皆様におかれましては、火災発生直後から、市民の命と暮らしを守るという使命のもと、厳しい状況下で、消火活動に従事してくださったその姿に、心から敬意を表します。

「鎮圧」の発表に伴い、現在発令中の避難指示は本日 11 時をもってすべて解除いたします。これにより、開設しておりました避難所もすべて閉鎖させていただきます。

また、当面、鎮火に向けて今治市災害対策本部は維持しつつ、その体制は縮小いたします。

今後は、被災された方々に寄り添いながら、きめ細かな支援を行ってまいります。現在、建物被害は 21 棟と確認されており、本日から今治市職員が「支援チーム」を組んで、被災された皆様一人ひとりに

訪問させていただき、現在の状況を丁寧にお聞きしながら寄り添い、ご要望に応じた適切な支援ができるよう、市として体制を整え、全力で対応してまいります。

なお、鎮圧とはいえ、現場にはなお火種が残っている可能性がございます。そのため、引き続き残火の処理等に全力を挙げて取り組んでまいります。その後、完全に火種が消えたことを確認した時点で、はじめて「鎮火」となります。

関係者の皆様には、引き続きご尽力をいただくこととなりますが、どうか最後までお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、改めまして、このたびの林野火災における鎮圧にご尽力いただいたすべての皆様に、心より深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。